

景気ウォッチャー調査研究会 中間提言

令和7年10月27日

景気ウォッチャー調査の創設から四半世紀。ウォッチャー各位の協力の下、本調査の回答率は、他の統計と比較しても高い9割程度の回答率を維持し、迅速かつ的確な地域の景気動向の把握に、大きく貢献してきた。

一方、その間、産業構造や働き方など日本経済を取り巻く環境は大きく変わってきた。こうした変化を受けて、本研究会では、景気ウォッチャー調査を一層有益かつ的確なものとしていくため、本年6月23日の第1回会合開催以来、景気ウォッチャー調査の改善に向けて、ウォッチャー（調査客体）の業種区分や基準構成比の見直し等について、ユーザーや調査実施委託機関からヒアリングを行うなど、議論を重ねてきた。

本中間提言は、これまでの研究会における議論を踏まえ、景気ウォッチャー調査の改善に向けた取組について提言を行うものである。

1. ウォッチャーの業種区分・基準構成比の見直し

- 最新の標準産業分類を踏まえつつ、ウォッチャーの業種区分・基準構成比の見直しを進めるとともに、その業種区分・基準構成比の基で試行的な調査（以下「試行調査」という。）の実施を検討すべきである。その際、集客力のあるレジャー施設運営者、利用が増えている民間職業紹介事業者など近年において景気に対して敏感と考えられる業種や現行調査でサンプルの過小な業種の存在を踏まえるべきである。また、従来からの、景気に敏感なウォッチャーの視点の重要性も考慮すべきである。
- 近年伸びている消費者向けECやオンライン決済サービス、売上や店舗数を大きく伸ばしている全国チェーン店等の関係者にも、ウォッチャーの委嘱を働きかけるべきである。その際、大型商業施設開業に伴う人流変化の影響など地域の環境の変化も踏まえ、景況感を捕捉できる事業者に委嘱を検討すべきである。

2. サンプルサイズ・試行調査

- 地域別・業種別ではサンプルが小さい地域・業種が存在することもあり、地域別・業種別も含めた調査の精度向上、サンプルデータの安定

性、幅広いテキスト分析への対応などのため、サンプルの抜本的拡充を図るべきである。

- 試行調査を実施する場合は、過去のデータとの連続性、公表の速報性、コメントの文章量や街角景気ならではの現場の実感としての回答が維持されるべきである。また、試行調査の公表の在り方を検討すべきである。
- 現状においてもウォッチャー確保が困難であることを踏まえ、試行調査を実施する場合は、試行調査におけるウォッチャー確保に支障をきたすことがないように工夫すべきである。

3. 今後検討すべきその他課題

- ユーザーの利便性を高めるため、公表しているエクセルデータの文字コードの統一、単一ファイルへの各年単位のデータの掲載、個人情報保護に留意しつつ個票データの利用度を高めるための環境整備などを実施すべきである。
- 景気ウォッチャー調査の認知度、利用度を高めるため、調査の概要、地域別・分野別構成、回答率の推移等のホームページへの掲載や、本調査の結果を利用して、AIを活用したテキスト分析やパネルデータ分析を地域課題分析レポート等で行うなどの付加価値をつけた公表を検討すべきである。
- ウォッチャーの高いモチベーションは、本調査の生命線ともいえる。長くウォッチャーを務める方や、回答率が高いウォッチャーの表彰、調査の活用状況についてウォッチャーへの情報提供、調査日数の検討など、ウォッチャーのモチベーションをさらに高め、回答率の維持・向上に資する取組を進めるべきである。
- ウォッチャーの選定に当たっては、その地域の景況感をよくみている方々・事業者であることを考慮しながら選定すべきである。

以 上

○景気ウォッチャー調査研究会 委員名簿（2025年10月27日時点）

（座長）宅森 昭吉 景気循環学会副会長

岩下 真理 野村証券株式会社市場戦略リサーチ部エグゼクティブ金利ストラテジスト

鈴木 将之 住友商事グローバルリサーチ株式会社経済部シニアエコノミスト

土屋 隆裕 公立大学法人横浜市立大学データサイエンス学部長・教授

広田 茂 京都産業大学経済学部教授

前田 和馬 株式会社第一生命経済研究所経済調査部主任エコノミスト

大和 香織 三井住友信託銀行株式会社調査部チーフエコノミスト

○景気ウォッチャー調査研究会 開催実績

第1回 2025年6月23日（月）

- ・内閣府からの説明
- ・景気ウォッチャー調査創設の背景と経緯について（大守 隆 元内閣府政策参与）

第2回 2025年7月18日（金）

- ・有識者からのヒアリング
 - ① 斎藤 太郎 株式会社ニッセイ基礎研究所経済研究部経済調査部長
 - ② 鈴木 雄大郎 大和証券株式会社エクイティ調査部エコノミスト
川島 正敏 大和証券株式会社エクイティ調査部エコノミスト
 - ③ 新田 堯之 株式会社大和総研経済調査部主任研究員

第3回 2025年9月10日（水）

- ・景気ウォッチャー調査における実務上の課題、現場からみた改善案について

第4回 2025年9月24日（水）

- ・景気ウォッチャー調査研究会の議論を踏まえた課題の整理について

第5回 2025年10月22日（水）

- ・景気ウォッチャー調査研究会の中間提言について